

2026年4月度 フリーランスエンジニア月額平均単価77.2万円 職種別では「コンサルタント」の平均単価が3カ月連続上昇

エン運営『フリーランススタート』定点調査レポート

エン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：越智通勝）が運営するフリーランスエンジニア向け案件検索エンジン『フリーランススタート』（<https://freelance-start.com/>）では、サイトに掲載されたすべての求人の情報を集計し、分析を行なっています。2026年4月度の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

調査結果 概要

- 2026年4月のフリーランス案件の月額平均単価は77.2万円。
- 2026年4月末時点での掲載案件数は425,008件。最高単価は480万円。
- 職種別では「コンサルタント」の平均単価が3カ月連続上昇。開発言語別では全体的に単価の下落傾向が継続。

解説

2026年4月のフリーランスエンジニアの報酬相場に関する調査を実施しました。調査結果では4月度のフリーランス案件の月額平均単価は77.2万円、2026年4月末時点での掲載案件数は425,008件でした。また、職種別の最高単価は「コンサルタント」で480万円でした。

職種別では、「コンサルタント」の平均単価が3カ月連続で上昇し、105.1万円（+0.1万円/0.1%増）となりました。企業のDX推進や事業戦略における専門知識への需要が、引き続き高い水準で継続していることが考えられます。

開発言語別では、先月に続き単価が下落傾向にあり、季節的な要因だけでなく、これまで先行していた需要が一段落し、企業がより実需に基づいた単価設定へと移行しているためと考えられます。

常駐案件とリモート案件のトレンドは、リモート案件の掲載比率が32.7%で、常駐案件との報酬額の差は「0.5万円（常駐：77.1万円、リモート：77.6万円）」でリモート案件が高い結果となりました。

引き続き、フリーランスエンジニアの案件獲得支援サイトとして、報酬相場情報を分析してまいります。

（『フリーランススタート』事業責任者 相場 敏行）



調査結果 詳細

■職種別の月額平均単価（上位15位）

フリーランススタート_職種別の月額平均単価_2026年4月

単位（万円）

順位	先月順位	職種	平均単価	先月比増減額	先月比増減率	
1	→	1	コンサルタント	105.1	0.1	0.1%
2	→	2	VPoE	93.9	-1.0	-1.1%
3	→	3	PdM(プロダクトマネージャー)	93.3	-0.5	-0.5%
4	→	4	エンジニアリングマネージャー	92.4	-0.1	-0.1%
5	→	5	PM(プロジェクトマネージャー)	91.5	0.1	0.1%
6	→	6	AIエンジニア(人工知能)	88.7	-0.6	-0.7%
7	↑	8	データサイエンティスト	88.5	0.4	0.5%
8	↑	9	クラウドエンジニア	87.9	0.2	0.2%
9	↓	7	SRE	87.6	-1.1	-1.2%
10	→	10	機械学習エンジニア	85.7	0.1	0.1%
11	↑	12	セキュリティエンジニア	84.9	0.8	1.0%
12	↓	11	PMO	84.2	-1.0	-1.2%
13	→	13	テスター・デバッガー・QA	82.8	-0.7	-0.8%
14	→	14	ブロックチェーンエンジニア	81.1	±0	0.0%
15	→	15	プログラマー	77.2	-1.9	-2.4%

職種別の月額平均単価（上位15位）を見ると、1位の「コンサルタント」や2位の「VPoE」といった上位職種は、引き続き高い単価水準を維持しています。経営課題の解決や技術組織の強化を担うこれらの役割が、企業の持続的な成長に欠かせないと考えられます。そのため、景気の変動や短期的なトレンドにも左右されにくく、根強い需要につながっていると推測されます（コンサルタント：+0.1万円/0.1%増、VPoE：-1.0万円/1.1%減）。

また4位の「エンジニアリングマネージャー」も直近4カ月にわたり上昇傾向にありましたが、今月も92.4万円と高い水準で安定した動きとなりました。開発組織のパフォーマンス向上を担う人材への高い需要が、フリーランス市場に定着しつつあることが推測されます（-0.1万円/0.1%減）。

2026年3月度のレポートは、[こちら](#)をご参照ください。

■開発言語別の月額平均単価（上位15位）

フリーランススタート_開発言語別の月額平均単価_2026年4月

単位（万円）

順位	先月順位	開発言語	平均単価	先月比増減額	先月比増減率
1	→	1	Go言語	-1.2	-1.3%
2	→	2	Ruby	-0.4	-0.5%
3	↑	4	Kotlin	-0.1	-0.1%
4	↓	3	TypeScript	-1.2	-1.4%
5	→	5	Rust	-1.1	-1.3%
6	→	6	Python	-1.2	-1.5%
7	→	7	Swift	-0.4	-0.5%
8	→	8	JavaScript	-1.3	-1.6%
9	→	9	PHP	-0.2	-0.3%
10	→	10	SQL	-0.2	-0.3%
11	↑	12	C#.NET	-0.1	-0.1%
12	↓	11	Java	-0.6	-0.8%
13	→	13	C++	0.1	0.1%
14	→	14	C#	0.1	0.2%
15	→	15	C言語	-0.1	-0.2%

開発言語別の月額平均単価（上位15位）を見ると、先月から変動幅は小さいものの全体的に単価の下落が見られました。一時的なトレンドが落ち着き、より実需に基づいた安定期へと移行していく過渡期にあると考えられます。そのような中でも1位の「Go言語」は2カ月連続で順位を維持しています。これは、「Go言語」がWebサービスのバックエンドやクラウドインフラといった、システムの根幹を担う領域で広く採用されているためと推測されます（-1.2万円/1.3%減）。

■フレームワーク別の月額平均単価（上位15位）

フリーランススタート_フレームワーク別の月額平均単価_2026年4月

単位（万円）

順位	先月順位	フレームワーク	平均単価	先月比増減額	先月比増減率
1	→	1	Ruby on Rails	-0.4	-0.5%
2	→	2	Next.js	-1.3	-1.6%
3	↑	4	Flutter	0.2	0.2%
4	↓	3	React	-1.2	-1.5%
5	→	5	Django	-0.5	-0.6%
6	↑	7	Vue.js	0.1	0.1%
7	↓	6	Nuxt.js	-0.1	-0.1%
8	→	8	AngularJS	-0.4	-0.5%
8	↑	9	Node.js	0.2	0.3%
10	↑	11	Laravel	-0.2	-0.3%
11	↑	12	Spring	-1.1	-1.5%
12	↑	14	CakePHP	-0.4	-0.5%
13	→	13	Unity	-0.8	-1.1%
14	↑	15	SpringBoot	-0.6	-0.8%
15	↓	10	Struts	-8.0	-10.6%

フレームワーク別の月額平均単価（上位15位）を見ると、先月に続いて緩やかな調整局面にあり、多くのフレームワークで単価の変動が落ち着いています。そのような中でも1位の「Ruby on Rails」が2カ月連続で順位を維持している背景には、その成熟したエコシステムと豊富な実績がもたらす高い信頼性が挙げられます。長年の実績に裏付けられた安定感は、一過性のトレンドに左右されない底堅い需要を生み出していると考えられます（-0.4万円/0.5%減）。

フリーランスエンジニア向け案件検索エンジン『フリーランススタート』



<https://freelance-start.com/>

2018年よりサービス展開。日本で最も多くのフリーランスエンジニア向け案件が掲載されている、国内最大級の案件検索エンジンです。

フリーランスエンジニア向けの案件情報を、開発言語や単価、勤務地、案件の特徴など細かい希望条件をもとに横断検索。応募までワンストップで完結できます。さらに、案件を紹介するエージェントのクチコミ・評判も確認可能。最も自分にマッチする案件探しを支援します。

本ニュースリリースに関する
お問い合わせ先

エン株式会社 広報担当

<https://corp.en-japan.com/>

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-6590 MAIL : en-press@en-japan.com